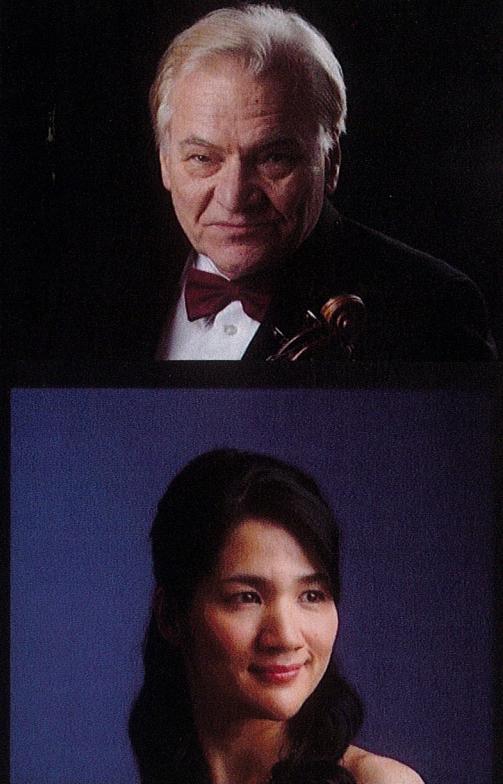
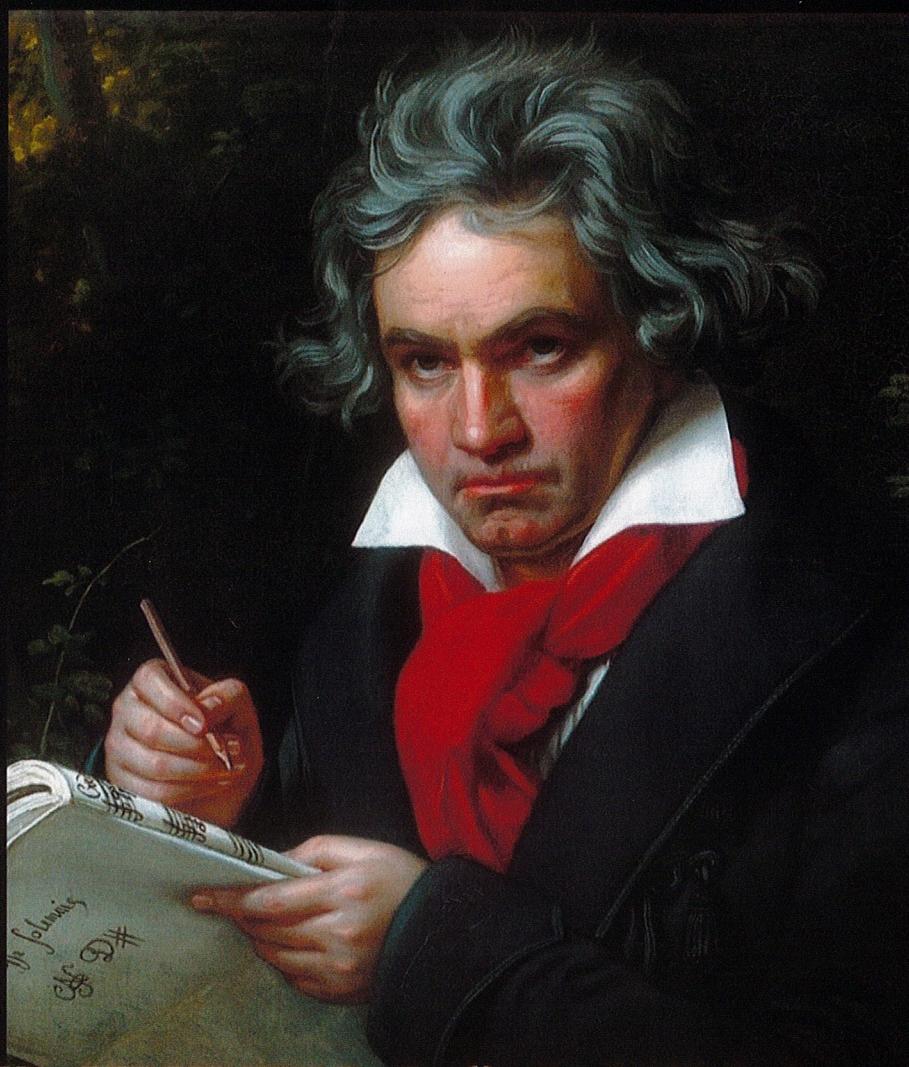


SALZBURGER SCHLOSSKONZERTE

DUO 結成 10周年記念

LUZ LESKOWITZ & MISA HASEGAWA



BEETHOVEN ALL SONATAS

1部 13:00-14:30

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ
1番、5番「スプリング」、10番

2部 15:00-16:40

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ
2番、3番、4番、8番

3部 18:00-20:00

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ
6番、7番、9番「クロイツェル」

2024

11/23 SAT

1部 13:00 2部 15:00 3部 18:00
旭堂楽器店 サンホール

京都市中京区寺町通夷川上ル(藤木町24)
TEL 075-231-0538

市役所前駅11番出口より徒歩約8分

各公演 一般6,000円 学生 4,000円
通し券 一般15,000円 学生12,000円

チケットご予約

QRコードよりご購入
または下記にお問い合わせ
ください。

*なお、QRコードからのご購入には
システム手数料が加算されます。



主催／問合せ

SALZBURGER SCHLOSSKONZERTE IN JAPAN

090-1959-9219

salzburger.konzerte.japan@ymail.ne.jp

Profile

ルツ・レスコヴィツ(ヴァイオリン)

6歳よりヴァイオリンを始める。13歳でウイーン音楽アカデミーに入学し、ヴァーシャ・ブシホダ、リカルド・オドノプソフに師事。その後、モーツアルテウム音楽大学にてヴィオラをエルнст・ウォールフィッシュに師事。卒業後、世代で最も優れたヴァイオリニストとしてユーディ・メニューインに招かれ、ロンドンのメニューイン音楽院にて教鞭をとる。20歳でロンドンのエリザベスホール、ウイグモアホール、ニューヨークのカーネギーホール等にてデビューコンサートを行い、その後世界各地で演奏活動を行っている。また1970年にドイツで室内楽音楽祭、ハルツブルガー音楽祭を立ち上げ、その後オーストリア、ドイツ、イタリア、日本などで15個の音楽祭を設立した。

1979年に自らが主宰する室内楽団、ザルツブルガー・ソリストンを設立。この楽団のデビューは、ザルツブルグ祭でのメニューインとの協演で、現在は世界中で定期公演を行っている。さらに1991年から2015年までは、ミラベル宮殿におけるシュロスコンサートのオーナー兼音楽総監督として精力的に活動。

共演者にはパウル・バドゥラ=スコダ、ウィルヘルム・ケンプ、イングリッド・ヘブラー、イエルク・デームス、ルドルフ・ブッフビンダー、ユーディ・メニューイン、オイストラフ、ノルベルト・ブライニン、ダヴィッド・ゲリンガス、ハインリヒ・シフ、ムスティラフ・ロストロポーヴィッチャ、ヘルマン・バウマン、カール・ライスター、カール・リヒター、ミカラ・ペトリ、ジャクリーヌ・デュプレ、エリー・アメリング、バルトーク四重奏団、ラーク四重奏団、ヴォーチェス四重奏団等数多くの名演奏家が名を連ねている。近年は後進の育成にも力を入れており、モーツアルテウム大学のピアノ科室内楽教授として、教鞭をとっている。イエルク・デームスとは50年以上DUOを組み、2015年には京都青山音楽記念館にて50周年コンサートを行った。また2016年より、本物の音楽を日本でという意思のもと、ミラベル宮殿コンサートインJAPANシリーズを開催。第1回には、ロンティボー国際コンクール覇者ヴァイオリニスト小林美恵氏を迎えて好評を博した。演奏には1707年製造ストラディバリウス『ブシホダ』を使用。

長谷川 美沙(ピアノ)

3歳よりクラシックピアノを始め、4歳でイエルク・デームスの弟子となる。数々の国内コンクールで入賞し、コンサート出演やオーケストラとの協演を果たす。15歳より毎年米国にてピアノコンサートを開催し、全米各地で注目を集め、米国ユタ州立大学音楽部ピアノ演奏学科より特待入学許可を得る。2011年の中国ツアーにおいては、日本と南京市の平和の象徴として、南京市より感謝状を授与された。2013年にはデームス氏の薦めでルツ・レスコヴィツ氏と初共演し、翌年にミラベル宮殿コンサートに招聘されたことを機に、ザルツブルグの名門マイスター・コンサートのピアニストをつとめた。2017年のドイツのレーリンゲン音楽祭で、ジエレミ・メニューインの代役をつとめ、好評を博し、その後、主にヨーロッパ各地の音楽祭から毎年、春と秋に招聘を受け、ソリスト、室内楽奏者として活躍している。これまでに主に、アメリカ、中国、ベルギー、ドイツ、オーストリア、イタリア、日本などでの演奏活動を行っている。2023年、ベルギーの元国王・元王女ご臨席のコンサートで御前演奏を行い、その後も演奏依頼を受けている。

共演者は、ダヴィッド・ゲリンガス、アブデル・ラーマン・エル=バシャ、ミカラ・ペトリ、アンドレアス・シュミット、ウラデミール・メンデルスゾーン、マーク・グローウエルズ、イリーナ・クリコバ、アイレン・ブリッキン、ソレン・ペダシー、ソフィア・ロイター、アンドレアス・プランテリード、デンマーク王立管弦楽団やハンブルグ交響楽団、シュターツカペレ・ベルリンのメンバーなどとの共演も多く、信頼が厚い。

現在、ザルツブルグ名門コンサートシリーズの日本代表を務め、東日本大震災復興支援活動や、被災地域活性化事業などにも力を注ぎ、定期的にコンサートやマスタークラスなどを行っている。CDも室内楽4枚、ソロCD3枚をリリースし、「レコード芸術」等で準特選盤に選出されている。

イエルク・デームス、ハリーナ・C・ステファンスカ、スザン・ダルマイヤー、池田明子、和田克、山本瑛子、加藤崇子の各氏に師事。

